

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成27年8月6日(14:00)



## 国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (平成27年度 第2回)

国立研究開発法人土木研究所では、平成27年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

### 1. 土木研究所が提案する共同研究(土研提案型：指定・公募型共同研究)

コンクリート舗装の維持修繕工法の改善に関する共同研究 (詳細は別添-1)	
担当：道路技術研究グループ 舗装チーム 材料資源研究グループ 寒地保全技術研究グループ 寒地道路保全 チーム	平成27年度～平成30年度
共同研究の目的(必要性) 近年、耐久性の高いコンクリート舗装を積極的に採用することで、舗装の長寿命化が図れ、維持修繕工事頻度の削減、ライフサイクルコストの縮減が期待されている。しかし、道路管理者からは、破損した場合の維持修繕について懸念があり、コンクリート舗装の採用が進んでいない。 よって、本共同研究では、コンクリート舗装の維持及び修繕に関して、既存の修繕工法の改善、軽微な破損に対する維持方法の提案、早期交通開放な修繕方法の提案を実施することを目的とする。	
共同研究の内容 1) 修繕工法の技術の改善および適用方法の検討 2) 維持工法の技術の開発および評価方法の検討 3) 早期交通開放技術の改善	

### 2. 募集期間 **平成27年8月6日(木)から平成27年9月4日(金) 17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/jpn/research/joint/index.html>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 大住 道生 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ 舗装チーム 上席研究員 久保 和幸 主任研究員 渡邊 一弘 電話 029-879-6789

# 別添-1

## 1. 共同研究の名称

コンクリート舗装の維持修繕工法の改善に関する共同研究

## 2. 共同研究の概要

### <共同研究の目的>

近年、耐久性の高いコンクリート舗装を積極的に採用することで、舗装の長寿命化が図れ、維持修繕工事頻度の削減、ライフサイクルコストの縮減が期待されている。しかし、道路管理者からは、破損した場合の維持修繕について懸念があり、コンクリート舗装の採用が進んでいない。

よって、本共同研究では、コンクリート舗装の維持及び修繕に関して、既存の修繕工法の改善、軽微な破損に対する維持方法の提案、早期交通開放な修繕方法の提案を実施することを目的とする。

### <共同研究の内容>

#### 共同研究の内容（項目）

- (1) 修繕工法の技術の改善および適用方法の検討
- (2) 維持工法の技術の開発および評価方法の検討
- (3) 早期交通開放技術の改善

## 3. 実施期間 平成27年度～平成30年度

## 4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担								
研究項目	研究細目	研究分担			年次計画（年度）			
		土研	指定機関※	(公募)共同研究者	27	28	29	30
1. 修繕工法の技術の改善および適用方法の検討	1)実態調査	◎	○	○	→			
	2)改善案の検討	○	◎	○		→		
	3)効果の検証	◎	○	○			→	
	4)補修設計の検証	◎	◎	○			→	
2. 維持工法の技術の開発および評価方法の検討	1)実態調査	◎	○	○	→			
	2)要求性能の整理	◎	○	○	→			
	3)材料開発	-	○	◎		→		
	4)評価法の検討	◎	○	○		→		
	5)検証	◎	○	○				→
3. 早期交通開放技術の改善	1)実態調査	◎	○	○	→			
	2)材料面の改善の検討	○	◎	○		→		
	3)施工面の改善の検討	○	◎	○		→		
	4)効果の検証	◎	○	○				→

※指定機関とは国立研究開発法人土木研究所共同研究規程に基づく手続きにより、本共同研究の相手方として承認され、本共同研究の実施について、承諾を受けた東京農業大学、北海道科学大学、石川工業高等専門学校及び一般社団法人セメント協会である。

<裏面もご覧下さい>

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

①参画条件

- 1) コンクリート舗装に関して十分な知識を有していること。
  - 2) コンクリート舗装に関して設計法や補修技術の開発・研究を行ったことがあること。
  - 3) 本共同研究に必要な専門技術者の配置及び必要な費用を分担できること。
- 上記条件をすべて満たしている会社またはグループとする。

②参加者数

十数機関程度を想定

③参加者の選定方法

書面審査及びヒアリングを行い選定する。

6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

7. 担当者 道路技術研究グループ 舗装チーム  
久保・渡邊 (TEL : 029-879-6789)